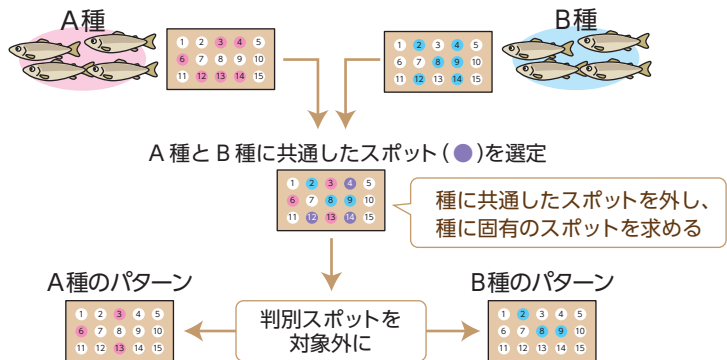


養殖品種のDNA鑑定に使えるマーカーを簡単に見つける方法を開発

新しい品種を作ったときには、DNA鑑定でほかの品種との違いを明確にすることが必要です。今までは、鑑定の目印となる、種に共通したDNAマーカーを1尾ごとに検査していたので、時間と労力がかかっていました。

簡単にDNAマーカーができない理由

- 1尾ずつの検査のため、手間とコストがかかる
- 複数回の検査で、結果に誤差が入る



新たな手法では…

特徴1

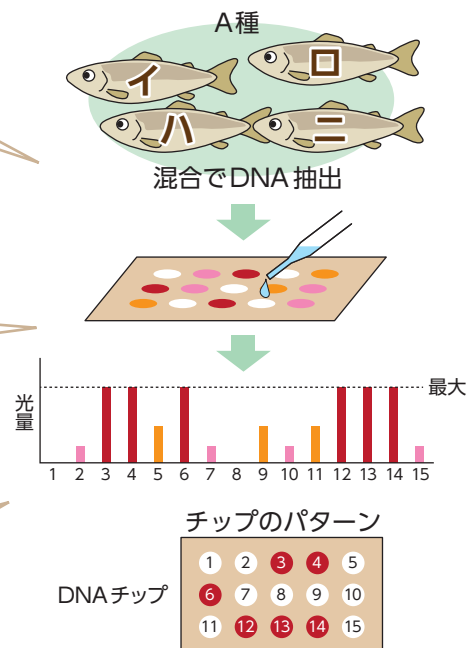
複数匹を混合でDNA抽出し、1回の実験で求める

特徴2

1回の実験のため、実験条件が同一である

特徴3

共通したスポットの求め方は積算ではなく、光量で求める



技術の成果

- 種判別などに使えるDNAを簡単に見つけることができる
- 1回の検査で済むので、検査条件の誤差がない
- いろいろな遺伝子情報をDNAで調べることができる

応用

- 生物が混ざったサンプルでも名前、種類の数や割合が分かる
- いろいろなDNAの試験に利用できる